

**平成26年度第1回中原区区民会議（摘録）**

平成26年度第1回中原区区民会議が開催されました。

会議では、新委員の紹介、正副委員長の互選、専門部会の設置及び専門部会委員の選任の後、「第5期区民会議の審議テーマ」などについて話し合われました。

会議の内容は次のとおりです。

**日時・会場など**

平成26年7月29日（火）午後2時から午後4時17分まで

中原区役所5階会議室

会議の傍聴人 なし

**会議次第**

- 1 開会
- 2 出席者自己紹介
- 3 正副委員長の互選
- 4 会議録確認委員の選任
- 5 専門部会の設置及び専門部会委員の選任
- 6 議題
  - (1) 第5期区民会議の審議テーマについて
  - (2) 区民会議の広報について
- 7 その他

**<（1）第5期区民会議の審議テーマについて>**

- ・ 事務局より第5期区民会議の審議テーマについて説明を受けた後、各委員から意見聴取した。

**<各委員からの意見>****[梅原委員]**

- ・ 子どもの教育について、親は先生が教えない、だめだと言うが、本来は家庭で行うべきことであり、そうでない家庭の子どもは不幸である。親への教育に力を入れていきたい。

**[尾木委員]**

- ・ 地域の支え合いは防犯パトロールや災害時要支援者対策につながるので、最初に地域の支え合いを議論していきたい。

### **【反町委員】**

- ・ 中原区では子育て支援の取り組みが進んでいるが、需要に追いついていない。  
地元商店街に目を向けることにより、世代間交流や新旧住民間交流に絡んでいけるのではないかと。  
なかはらメディアネットワークの力をかりてはどうか。

### **【塚本委員】**

- ・ 新旧住民の子育てを交え、現在小学校がパンク状態にある。子どもの居場所や安全・安心への取り組みは喫緊の課題ではないかと。  
新旧住民間の関わり方のギャップを埋めるような取り組みができればと思う。  
区民会議が一発のイベントで終わることのないよう、制度提案やモデルの展開方法を探ってはどうか。

### **【中森委員】**

- ・ 新旧住民を交え、若い世代が多いので、できるだけ子育てに関して目を向けるべき。幼少のころから取り組むことにより、その親もいろいろと勉強していくのではないかと。  
中原区は川崎市内で2番目に外国人が多いので、その問題改善に取り組むべき。

### **【石川委員】**

- ・ 子育てのために親を教育しなければいけないとは言いが、実際にそのようなことが可能なのか。子育てが終わっている私には今さら感があるが、いろいろな意見を聞くうちに、もっと早く話を聞いておけばよかったとつくづく思う。  
商人のまちは、割合に緑が少ないので、緑を多くするような施策や自転車による交通事故について検討していければと考える。

### **【井上委員】**

- ・ 中原区は、他地域と比べ、新住民が多く住み始めているのが一番大きな特徴なので、そこでの課題は住民同士の交流により解決が図れるのではないかと。ただ、即解決する課題もあるし、都度の取り組みにより解決する課題もあるので、子育てに取り組むことにより大きな成果につながっていくのではないかと。

### **【梶川委員】**

- ・ 文化協会とのパイプ役として、その意見を本会議に反映させたい。  
6年前ぐらいからの人口増加により、朝のラッシュ時、駅のホームが大変混雑している点も整備していけたらと考える。  
→ 小杉駅にホームドアを設置する旨県がJRに要請し予算をとっている。(参与)

### **【園部委員】**

- ・ 我々は中原区の住民なので、大半の課題がそれぞれ絡み合い、関係性があると思うが、準備会議では子どもの安全のことが大変気になった。  
町会への参加人数が大変少ないので、町会行事を楽しく、参加したくなるようなもの

のにすれば、マンション族や町会との交流が深まるのではないか。防災に関しても基本は町会と考えるので、町会が住民を引き込むことにより新旧住民の交流や地域の一体化が促進すればと思う。

#### **【田中委員】**

- ・ 災害時要援護者の避難支援について取り上げたい。住民情報の収集は、その重要さよりも個人情報保護が優先され、思うように進まない。各町会・自治会に渡される個票により民生委員が戸別訪問しても、ひとり暮らしの方が支援を断った場合、誰が緊急時に誘導するのか。民生委員が個別にチェックしているのが実態である現在、ある程度まで個人情報保護は緩められないのか。

#### **【長尾委員】**

- ・ 子育てに関連し、居場所がないと感じている子どもは、その親も地域に居場所がないと感じている場合が多いのではないか。親子双方の居場所を地域活動と結びつけ、少し上の年代の方にも助けてもらいながら事業を企画していきたい。

#### **【仲亀委員】**

- ・ 障害者が外出するのに苦にならないまちづくりを進めていきたい。障害の種類により、その苦勞はさまざまなので、障害者の意見を伺い、それに対し協力していければと思う。

#### **【仁上委員】**

- ・ 緑の多いまちは気持ちよく散歩できる。ごみ集積所の整備は、まちにより差があるように思う。防鳥ネットを使っても、だらしなく片づけられていない町会のごみ集積所は、カラスがついばんだりして、散歩中에서도興をそがれてしまう。ごみ問題を区民会議を通し各町会に発信し、隅々まできれいなごみ集積所を目指してはどうか。川崎市は何年か前までごみを分別していなかったもので、この点からもその整備に差が出ているのではないか。まちがきれいになって嫌な気持ちになる人はいないので、ぜひテーマの1つにされたい。

#### **【萩原委員】**

- ・ 住宅、マンション、商店、工場、企業全てで取り組める問題として、ごみ問題、リサイクル問題を1つ挙げておきたい。

防犯、防災、子育ての問題は誰もが共通して取り組めるものであり、決して一部住民の話ではない。仮に障害者、健常者を例にとり、弱者に優しいまちづくりを進めるにしても、その対象者かもしれない子どもであっても、高齢者であっても、パワーを持っている方はたくさんいる。彼らを助けたいというよりも、皆が輝けるようなまちになればよいと考えるので、テーマ選びは大変に難しいが、多方面の分野の方が一緒になって取り組み、その活動の魅力を発信できるようなものとしたい。

### **[松澤委員]**

- ・ 中原区でも年に1度労働組合と組合員から挙げられた意見を論議する場を設けているが、そこでも人口増加による交通インフラ整備の問題、とりわけ自転車のマナーが大きな課題となっている。通行、駐輪の問題等の工夫がこの場で出せればと考える。

### **[松澤委員]**

- ・ 中原区周辺に住む組合員も多いため、子どもを預ける場所がない、抽せんから漏れた等、子育ての相談も結構多い。その場合、保育ママ等、新システムがしっかりしたものであることが伝えられればと考えるので、その周知方法等の工夫がこの場で議論できればと思う。

### **[松本委員]**

- ・ 増加する中原の住民に、今後も住み続けたい、暮らしたいと思わせるには、町内活動の活性化が1つあり、それには地域とのコミュニティが必要となる。マンション世帯の方にも町内会の役員になってもらい、同じフロアでの活動を通じてコミュニティができれば1つ1つの課題の解決につながるのではないかと。ごみ問題にしても、ごみ集積所の後片づけを当番制でやれば、そのごみ出しのモラルやマナーにつながるのではないかと。
- ・ 子どももふえているが、高齢者もふえている。弱者支援としての災害時要援護者支援が安全・安心のまちづくりにつながっているため、地域の支え合いがテーマにつながると思う。

### **[山崎委員]**

- ・ 私はまちに住み始めて30年足らずであるが、この30年で大変便利になったと思う。渋谷や横浜に行かずとも物事が全部小杉で済んでしまうため、余り電車に乗らなくなった。意識的なつながりづくりは大変大事なことなので、中原区の特徴になるようなイベントを幾つかつくりたい。食育の最終目標は豊かな人間形成である。まちをつくるのは人なので、同じ釜の飯を食うようなイベントを希望したい。

#### **< (2) 区民会議の広報について >**

- ・ 事務局より区民会議の広報について説明を受け、各委員から意見聴取した。

#### **< 各委員からの意見 >**

### **[萩原委員]**

- ・ 区民会議だよりの広報の仕様は川崎市全体で決まっているのか。かた苦しく、魅力を感じないので、モデルチェンジしてはどうか。  
→ 広報の仕様は各区のカラーである。指摘事項は事務局で検討したい。(事務局)

### **[塚本委員]**

- ・ 平成25年度中の区民会議への問い合わせや意見は何件程度寄せられているのか。

→ 問い合わせはほとんどなく、数字として残すほどのものはない。(事務局)

#### <その他>

- ・ 事務局より区の木々の制定について説明を受け、その旨了承した。

#### <参与からの提言>

- ・ 中原区は本当に課題が多い行政区と思う。子育て世代である30代、40代の住民が多いことや各分野から参加している委員も多いため、テーマを絞るのは大変に難しいのではないかと。ただ、防犯、防災の問題は、3・11の東日本大震災以降、積み上げてきた議論の経過もあるので、分断されないよう、さらに一層充実させていくための議論もしながらテーマを絞ってほしい。

- ・ 山積する議題の中には、議会でも議論されているテーマが多々見受けられる。多様性のある意見をくみ上げた区民会議ならではの取り組みや、傍聴席が埋まるような活動に期待したい。

- ・ 現在、議会でも超党派で町内会の活性化、町内会・自治会への加入を促進する条例づくりのためのプロジェクトチームを立ち上げ、既に2回の会合を終えている。町内会での子ども会がだんだんとなくなっている中、区民会議では子育てについての話題が盛んになっているのは、いろいろな部分で過渡期に入っているからと考える。

安心・安全の点からの情報提供であるが、7月21日から同月27日の1週間、中原区内での犯罪件数は、空き巣2件、ひったくり6件、オードバイ盗2件、振り込め詐欺2件と、人口の増加に伴い犯罪件数もふえる傾向にある。交通環境の安心・安全もさることながら、この点についても留意した意見交換を行い、充実した区民会議としてほしい。

- ・ 第5期開始に当たり、1期から4期までの審議テーマやその結果などを把握するための資料が必要だったのではないかと。

→ 準備会議の際、全期報告書を各委員に配付している。

川崎フロンターレのJリーグ優勝を見据えた地元PRに意を注いでほしい。

区民会議での議論をここだけで終わらせるのではなく、地域に持ち帰り、区民会議のありようについて地域から意見をくみ上げ、本会議で議論するのも重要なのではないかと。地域の細かい課題等々、自分の専門分野だけでなく、オールマイティな議論を賜りたい。

- ・ 本会議は、他区区民会議をリードしてきたと自負している。この場での議論が本区の発展につながり、市全体を市民目線で大きくリードするものとしてほしい。